

(個人)

(報告：岩 田)

山(山域・ルート) 戦場ヶ原 スノーシューハイク (約 1400m)
(栃木県日光市)

【日 時】平成26年2月26日(水) 晴

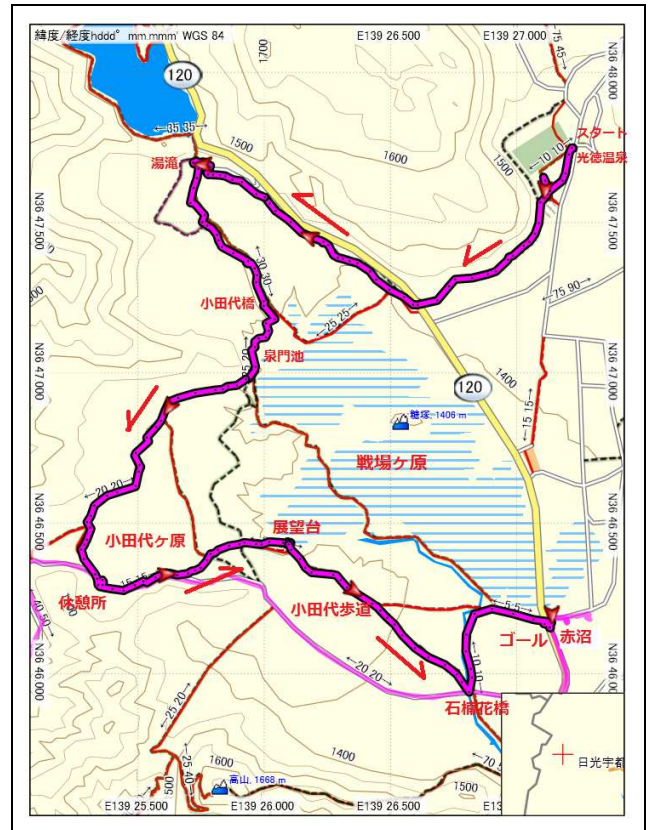
【メンバー】 岩田(計1名)

【行動記録】

⇒6:45 春日部 6:53⇒8:25
東武日光 8:36⇒⇒9:50 光徳
温泉
10:10 光徳温泉→10:43R120→
11:30～11:40 湯滝→12:10～
12:30 休憩→12:42 小田代橋→
14:00～14:20小田代ヶ原休憩所→
15:03～15:15 展望台→15:45 石
楠花橋→16:10 赤沼バス停
16:27 赤沼⇒⇒17:29 東武日
光 17:39⇒19:30 春日部



合計  6時間
..... 17,000歩 11.2km



時刻通りバスは光徳温泉の日光アストリアホテル前に到着。まわりは10日ほど前の大雪がまだだいぶ残っていた。スノーシューをつけ出発する。誰もいない樹林の中を進むとすぐに光徳沼を過ぎる。逆川沿いに歩き国道120号の下をくぐる。ここから遠回りして湯滝へ向かう。鹿除けネット柵沿いにトレースがありそれをたどっていく。

湯滝前の展望台は修理工事中で少し手前で滝を観る。裾広がり立派な滝だ。冬の湯滝は観光客がいなくて、数人の工事関係者のみだった。湯滝から湯川沿いに川のせせらぎ、野鳥のさえずりを聞きながら歩き、途中昼食をとった。風もなく暖かい。

小田代橋を渡り、数人のスノーシューハイカーに会った。知らぬ間に泉門池^{いすみやとけ}を過ぎて小田代ヶ原へ向かう。雪原のあちこちに動物の足跡がくっきりと残っていた。青空をバックに男体山、大真名子山、小真名子山、太郎山が並んで見える。大真名子山と小真名子山の間にわずか女峰山が白い頭を出している。

小田代ヶ原の四阿のベンチはかろうじて雪から出ていて座ることができた。ここは冬以外は低公害バスの停留所だが、今は雪で閉ざされ全くその様子は見られない。さらに小田代歩道を歩き、途中の展望台からは太郎山が正面に見えた。

歩道分岐まで来たが、石楠花橋方面には全くトレースがなかった。GPSで位置と方向を何度も確認しながら樹林の中を進み、ぴたりと石楠花橋に着くことができた。やはりGPSを持っていると心強い。

石楠花橋から湯川沿いに遡り16時10分に赤沼バス停着。予定通り16時27分のバスに乗ることができた。

まるごと日光東武フリーパスは電車バス自由に乗り降りできて1,590円お徳用だった。スノーシューハイキングは初めてであったが、冬の日、雪と遊ぶのは結構楽しい。本格的な冬山登山はちょっと苦手という方には、冬場の運動不足解消におすすめだ。

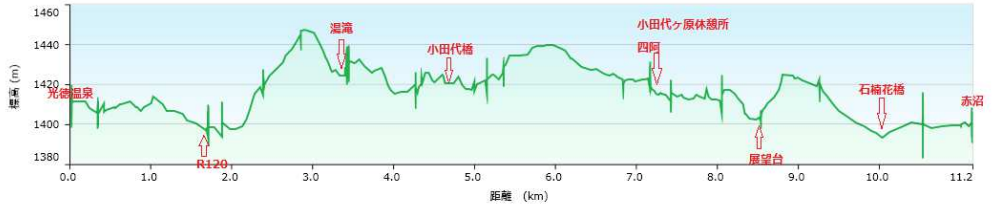


(小田代ヶ原の四阿) (左から太郎山、小真名子山、大真名子山、男体山)

(小真名子山と大真名子山の間に女峰山が見える)

山行Dataは次Page

グラフ



統計

概要
ポイント: 348 距離: 11.2 km 区域: 4.9 sq km

時刻
経過時間: 6:18:04 移動時間: 4:39:38 停止時間: 1:38:26

スピード
平均: 1.8 km/h 移動の平均値: 2.4 km/h 最小: 0.0 km/h 最大: 8 km/h

標高
最小: 1387 m 最大: 1447 m 上り: 175 m 下り: 187 m 勾配: -0.0 %

以上